

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 日

事業所名 支援センター はーとらいふ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4			児童の状況に応じ牛乳パック ハウスを使用しています	
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	4			駐車場から玄関までの道を スロープ・手すり使用。室内 段差なし。一部マット使用。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	4			振り返り話し合っています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4			アンケートを集計し職員で共 有	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4			ホームページで公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			4		今後検討
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4			県や市の研修会に参加し資料を職員で共有しています。	色々な専門機関の研修に参加し資質の向上を図っています。
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4			児童発達管理責任者を中心 に職員で話し合い計画書作 成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4			「新サポートえいぶる」を参 考にしてアセスメント表作 成しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	4			職員で立案し検討決定して います。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	4			児童の意見も取り入れてい ます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4			買い物学習や外食等社会と のかかわりを持てる活動を行 っています。	地域との関わりを取り入れた戸外活動を行っています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	4			変化がみられるときにはその 都度話し合い計画書の作成 を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4			朝礼時に確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4			毎日、業務終了後に振り返り を行っています。	気づきや変化がある時には「気になるノート」に記録して いくことを職員に周知しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			毎日、計画書を確認し記録し ています。	「気になるノート」と支援記録を確認し、検証・改善に努 めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	4			定期的にモニタリングを行い 必要に応じ見直しを行って います	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4			1人1人に合わせた組み合わ せを行っています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達管理責任者が参加	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			学校の連絡会に参加。利用児童の予定表を作成し担任と共有。学校の手紙の確認を毎日行っています。学校指定アプリ「スクリレ」に登録しています	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—		該当児童がいない。受け入れ時には連絡体制を整える
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			お迎え時に情報共有や相互理解に努めています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	—		該当児童がいなかったため行っていない。該当児童がいる際には情報の提供を行っていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		専門機関の行っている研修に参加をしています。	研修に参加できなかった職員に資料を共有していきます。専門機関と連携を取り必要に応じ助言を頂いたうえで対応していきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		放課後児童クラブとの併用利用の声掛けを行っています。	感染症に注意しながら今後長期休暇時に地域の児童館を利用し、交流をしていきたいと思います。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			4		今後検討
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			連絡帳やお迎え時に伝え、必要時にはTEL連絡し共通理解を図っています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			その都度対応しています。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時や更新時期に説明しています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			相談があればその都度対応しています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2	以前は開催していました。	今後、感染症の状況を見ながら保護者会の開催を検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		相談ボックスを設置している。相談や申入れがあれば迅速に対応している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			毎月、会報を発行し活動を発信しています	
	35 個人情報に十分注意している	4			写真等の発信時には同意を得ています	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			送迎時やお迎え時に行っています	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		3	1	散歩や公園遊び時に地域の子供たちとの交流	行事に合わせ地域に方をお招きして交流会を検討していきたい

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			マニュアル本を作成し職員に周知しています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			NTT伝言ダイヤルを登録。保護者に文書にて周知しています。	年2回の防災訓練を継続し改善点を話し合っていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			県や市町村の開催している研修に参加。資料を職員で共有	研修を振り返り、再度職員で研修を行っていく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4		自治体、保護者の協力を得て虐待防止委員会を発足しています。 契約時、モニタリング時に保護者に確認を行っています	現在該当児童なし。 今後該当児童には家族に説明し計画書にも記載し対応していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	—	契約時に確認しています	現在該当児童なし。 該当児童がいたらその都度対応していく
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			事業所内でのヒヤリ・ハット集を作成し職員で共有。	些細なことでもヒヤリハットに記録を残していくことを職員に周知していきます